

足立区自立支援協議会 暮らし部会 令和5年度 協議項目

<部会の目的>

区内の様々な事業所、関係団体の担当者に参加いただき、障がいのある方が地域で暮らし続けるためにはどうしたらよいか、課題を共有し、意見交換を図る。

<今年度の重点課題>

- 1 新型コロナウイルス感染症の5類感染症後の現状把握、対策等の共有・検討を行う。
 - ・ 暮らし、事業所の対応、感染対策の緩和等様々な面での現状把握を行い、新たな対策や変更した対策などを共有・検討を行う。

- 2 事業所等への情報提供
 - ・ 区内障がいサービスに関連する情報等の提供
 - ⇒ 障がい施策のみならず、介護・医療その他暮らしに関する区内障がいサービスに関連する情報等を部会にて取り上げる。
提供情報を踏まえ、事業所等での情報の支援への活かし方、情報取得、共有等の方法等を考える。

- 3 高齢化の課題
 - ・ 障がいのある方の高齢化の課題等、家族の方・介助者等の高齢化の課題等、事業所の職員の方の高齢化の課題等について様々な面から現状を把握し、対策の共有・検討を行う。
 - ⇒ 障がいのある方等の高齢化を見据えた事業所側の人材のあり方としてどのような取り組みが必要か。人材育成として、どんな知識・技術情報の取得が必要か。
合わせて、高齢等の家族への対応として、どんな取り組みが必要か。
例) 高齢分野の地域資源との連携構築
福祉・介護職員の高齢化、生産年齢の減少を踏まえ、持続可能な人材の確保と活用をどうしていくか。
例) 介護ロボット・AI・ICT技術の活用可能性
 - ⇒ 他の部会での検討内容等
 - こども部会： こども時代のサービス（障がい児や親への支援）が広がる中、おとなになってからとのサービスとの違い・将来を見据えた準備が必要
 - 権利擁護部会： 親なきあとの本人の意思決定支援、親あるうちからの準備について

※ 部会長挨拶・ 活動計画（令和5年度協議項目について）

（1）新型コロナウイルス感染症の5類感染症後の現状把握、対策等の共有・
検討を行う。

【意見交換内容】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の利用者家庭の生活の変化について
例：制限等が緩和されたことによる具体的な生活の変化
例：外出等の再開状況。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の福祉サービス利用及びサービス提供について。
例：感染対策の変更など試行錯誤しながら対応を検討している内容
例：イベント・行事等のノウハウや連携の不足等
例：外出等の再開状況
例：利用者の家族との交流の再開状況
例：感染対策で止めていた活動等をどこまで実施していくか
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性時について
例：医療連携の持ち方
例：濃厚接触の扱いがなくなったことへの対応

（2）事業所等への情報提供

医療関連の情報や医療機関等との連携について

- ・ 高齢・介護分野における医療に関する情報及び連携構築の取り組みについて（地域包括ケア推進課 医療・介護連携推進担当）
 - ① 在宅療養支援窓口
 - ② 医療・介護情報提供システム
 - ③ MCS（メディカルケアステーション）
- ・ その他障がい者等への医療情報等（事務局・地域生活支援担当）

【質疑/意見と情報交換】

高齢・介護分野における医療に関する情報や連携構築の取り組みを踏まえ、障がい分野での、事業所等での情報の支援への活かし方、情報取得、共有等の方法等を考える。

<今後の予定>

第2回 9月26日（火）14：00～16：00

第3回 12月5日（火）14：00～16：00